

- 野際遺跡発掘調査速報！ P1～2
- ふるさと歴史たんけん隊 隊員募集 P3
- いわたホッとラインに登録しませんか？ P4
- コラム『磐田の何？「永照塔」』佐口節司 P4

磐田市教育委員会教育部文化財課 令和3年6月1日発行

のぎわ
野際遺跡発掘調査速報！
—古墳時代の井戸や多量の土器等が出土—

昨年の10月から今年の3月にかけて、市内東貝塚で、東部幼稚園園舎建て替えに伴い野際遺跡の発掘調査をおこないました。今年度の後半にも調査を予定していますが、今回は昨年度に見つかった成果についてご紹介します。



調査地周辺の様子(南西から)

赤枠が昨年度調査地、青枠が今年度調査予定地（遺跡の範囲はおおよその範囲です）

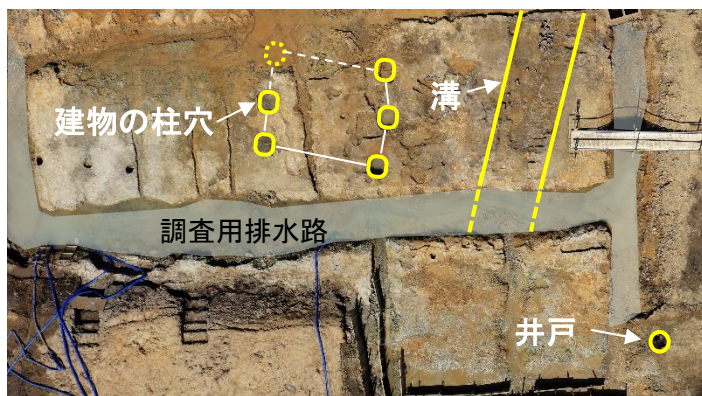
野際遺跡と周辺環境

野際遺跡は、磐田原台地の東南部に位置し、南側には低湿地帯が広がります。周辺には、堂山古墳群、国指定史跡の御厨古墳群のほか、奈良・平安時代の墨書土器や祭祀遺物が出土した鎌田・鍬影遺跡や中世の建物跡が見つかった長江崎遺跡といった、多くの遺跡があります。

また、当遺跡はこれまでに東部小学校の校舎改築に伴い昭和56、58年に調査がおこなわれ、奈良時代の建物群などが見つかっています。今回の調査では、東部幼稚園の園庭の下に遺跡が広がっていることが分かりました。

野際遺跡で出土した 遺構・遺物

遺跡からは、古墳時代から中世までの遺物が出土しました。遺構としては、建物の柱穴、井戸、土地を区画する溝などが見つかりました。今回は、そのうちの一部を紹介します。



発掘調査区南側（上が北／黄色が遺構）

① 溝から多量の土器片が出土

幅 2m の溝からは、古墳時代終わり頃の土器がまとまって出土しました。壺や甕以外にも多様な器が見つかったほか、魚を採る網に錘として付ける土錘も見つかりました。



溝から土器が集中して出土した様子



土器を取り上げる様子



出土した土錘（長さ 7 cm）

② 井戸の跡から底に穴がある土器が出土

直径 75cm、深さ 90 cm の井戸の跡から古墳時代前期（約 1600 年前）のほぼ完形の土器が見つかりました。この土器の底近くには焼成して完成させた後に、意図的に空けた穴（直径 1 cm）があり、日常的に使用されたものではなさそうです。

この土器は、井戸を廃棄する際に井戸の神様にむけておこなった祭祀に伴い、井戸に納めたものと思われます。当時の人たちが井戸を大切にしている想いが伝わってきます。



井戸の跡上部から出土した様子



底に穴がある土器（高さ 15 cm）

この他にも、多くの成果がありました。7 月には今回の野際遺跡発掘調査成果等を紹介する展示を磐田市役所本庁舎 1 階展示ブースでおこなう予定です。

お楽しみに！



©磐田市

ふるさと歴史たんけん隊 隊員募集



今年も、磐田市内の小学生を対象に、磐田の歴史を楽しく学べる「ふるさと歴史たんけん隊」を開催します。ふるさとの魅力を“見て”“聞いて”感じよう！

回	とき	場所	内容
1	8月5日(木) 9:30~11:30	埋蔵文化財センター 中央図書館	企画展見学と土器の拓本で「しおり」を作ろう！
2	8月19日(木) 9:30~11:30	埋蔵文化財センター	文化財課の仕事を体験しよう！ (土器などの水洗い、接合など)
3	9月4日(土) 9:30~11:30	埋蔵文化財センター	古代人の気分になって、オリジナルの土器を作ってみよう！
4	11月13日(土) 9:30~11:30	埋蔵文化財センター	磐田市内から出土した ^{まがたま} 勾玉を見て、自分だけの勾玉を作ろう！
5	12月11日(土) 9:15~11:30	^{とおとうみ} 遠江国分寺跡 ^{かわらけづか} 土器塚古墳ほか	まちの中にある遺跡や古墳を探検しよう！

★対象：磐田市内の小学5・6年生

★定員：15名(応募者多数の場合抽選)

★参加費：1,700円(5回分)

★申込：令和3年7月1日(木)~7月7日(水)まで

右QRコードまたは市ホームページ「電子申請」から申込

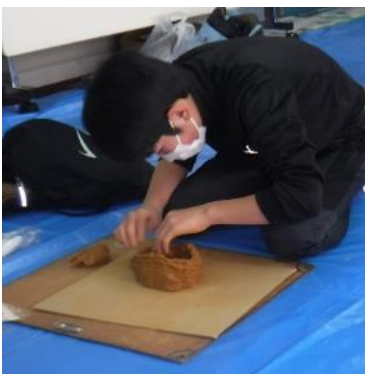
- ・受付期間前にアクセスした場合、申込フォームは表示されません
- ・電子申請から申込が出来ない場合は電話にてお問合せください
- ・感染症の状況や天候等により、日程・内容など変更又は中止の可能性があります
- ・詳細は追って参加者に通知します

★昨年度の活動の様子

申し込みは
こちらから！



QRコード



土器作り体験



古墳探検



勾玉作り体験

問合せ 磐田市教育委員会文化財課(埋蔵文化財センター内)

磐田市見付3678-1 TEL:0538-32-9699 FAX:0538-32-9764

3/4いわた文化財だより 第195号

メール配信サービス

いわたホッとラインに登録しませんか？

文化財課では、磐田市メール配信サービス「いわたホッとライン」で歴史・文化財情報をリアルタイムで配信するサービスをおこなっています。昨年度は、文化財課主催の展示会・イベント情報などをお届けしました。ぜひご登録ください。

<登録方法>

- ① entry@hotline.city.iwata.shizuoka.jp へ空メールを送信
 - ② 「仮登録完了のお知らせ」というメールが届いたら、画面に従って登録
 - ③ 受信希望情報入力画面で『メールマガジン 磐田の歴史・文化財』をチェック
- QRコード読み取り可能の携帯電話をお使いの方は、右のQRコードをご利用ください。



QRコード



企画展



講座

職員リレー コラム

磐田の何？「永照塔」

佐口 節司

豊岡地区の遠州大念仏の調査の際、「永照塔」という言葉を聞きました。「永照塔」は旧広瀬村の各所に建立された、五輪塔の形に造られた戦没者慰霊塔のことです。

三家にある松久院の境内に、「永照塔」の原点になった2つに割れた石碑があります。上半部である右側には「永照塔」の文字が刻まれています。この石碑は広瀬村の戦没者を慰霊するため、広瀬尋常高等小学校（広瀬国民学校）に建てられました。この碑文に「永照塔」の名が使われたことから、広瀬村の人々は忠魂碑・戦没者慰霊塔のことを「永照塔」と呼ぶようになりました。戦後、この慰霊塔は進駐軍が来るということから、校庭の片隅に埋めて隠すことになったそうです。その後、昭和23年に掘り出され、松久院の境内に再び建てられました。

今でも豊岡地区の大念仏組は初盆の家の供養に赴く前に、永照塔・戦没者供養塔の前で大念仏を披露し、戦没された方々を偲び慰霊を重ねています。

さて、耳よりの情報です……

「大念仏」と言えば磐田市教育委員会では『磐田の大念仏』報告書（DVD付）を発刊しました。図書館等で読んだり見たりすることができますが、お手元に置きたい方のために2,000円で販売（文化財課）しています。こちらもよろしくお願ひします。



松久院境内の永照塔

(左:原点となった永照塔 右:五輪塔の形の永照塔)

編集後記
文化財だより第194号（令和3年5月発行）4ページ目のコラム内「水酸化ナトリウム」は、正しくは「水酸化カルシウム」です。訂正してお詫び申し上げます。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課（磐田市埋蔵文化財センター）
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。 [磐田 文化財だより](#) [検索](#)